

組織状況 2010年8月31日現在

組合員数 **26,454** 人

出資金総額 **80,058** 万円

一人当たりの出資額 **30,263** 円



とやま医療生協 虹のまち

2010年10月号 No.330

〒931-8501 富山市農田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月1回発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)
発行 富山医療生活協同組合



▲9月24日 婦中町の各願寺周辺にて南ブロックウォーキング

ウォーキングで健康づくり 予防接種でインフルエンザ対策

記録的な猛暑も過ぎ、すっかり秋となりました。清々しい空気を吸いながらのウォーキングは健康づくりに最高。色づく紅葉を見ながら、みんなで楽しく歩きましょう。さて、冬に向けての心配はインフルエンザ。今年、富山医療生協では十月からインフルエンザの予防接種を開始しました。六十五才以上の方は自治体から送られてきている接種券、六十五才未満の方は組合員価格での接種で流行に備えましょう。また、病院での小児科再開により、富山診療所、水橋診療所はもとより、富山協立病院でも小学生以下の小児のインフルエンザの予防接種(二回法)が可能となりました。小児の接種は、それぞれの事業所へ診療時間を確認の上、受診をお願いします。

インフルエンザ予防接種

**接種期間10月1日～3月31日まで
病院・診療所で接種できます**

大人1回法…組合員と家族 **2,000円**
(未組合員3,600円)

小児2回法…組合員家族 **3,200円**
(未組合員6,150円)

なお、65才以上の方は自治体から送られてきた「接種券」を活用しましょう。
(費用は接種券に記載されています)

富山協立病院 特別体制日のご案内

対象者	特別体制日	診療時間
大人の方 (中学生以上)	10月30日(土)	9:30～11:30
	11月13日(土)	9:30～11:30
		13:00～15:00
人数把握のため、接種予定の方はご連絡下さい。		

今年のワクチン

医療先進国と思われていた日本では昨年は新型インフルエンザの流行は若年層で重篤化の可能性があり警告を発しています。ワクチンの有効性について、

インフルエンザは第二波以降が重症化しやすい事や、タミフル耐性のインフルエンザウイルスの増加がみられる事です。WHOは今年のインフルエンザの流行は若年層で重篤化の可能性があり警告を発しています。

医療先進国と思われていた日本では昨年は新型インフルエンザの流行は若年層で重篤化の可能性があり警告を発しています。

病院で「禁煙外来」開始しました

木 14:00～15:00
百谷 泉医師

11月より追加
月 14:00～15:00
山本美和医師 **予約制となります**

お問い合わせは 富山協立病院 ☎076-433-1077
なお、富山診療所でも「禁煙外来」を実施しています。



早めの接種を



富山協立病院
名誉院長
齋藤 隆義 医師

昨年四月にメキシコやアメリカで発生した新型インフルエンザ(A型・H1N1)が八月には日本にも上陸し大きな流行になった事は記憶に新しい事です。他国では五七％であった幼児の死亡率は日本では幸い〇・一％以下に押さえ込む事ができました。理由はタミフルやリレンザのタイミングの良い使用や社会環境・医療体制の違いなどが言われていますが、今年もうまく乗り切れるか不安もあります。過去の例ではインフルエンザは第二波以降が重症化しやすい事や、タミフル耐性のインフルエンザウイルスの増加がみられる事です。WHOは今年のインフルエンザの流行は若年層で重篤化の可能性があり警告を発しています。

でも議論があります。抗原性がワクチンと一致すれば八〇％位はインフルエンザを予防できると言われていますが、インフルエンザウイルスは非常に変異しやすいウイルスで、時には著しい抗原変異が生じて予防効果は五〇％以下になる事があります。しかしそのような大きな抗原変異は数十年に一度現れるまれな現象です。一般的には小児では発症率の低下や重篤化の阻止、高齢者でも重篤化の阻止が明らかになっていません。特に家族や施設・学校などで集団接種を受ける事がインフルエンザ重症化の防止に有効であると言われています。

内視鏡

国内の百歳以上の高齢者は、総務省統計局によると約四万八千人。富山県内には八月五日現在五百四十五人となっている。しかし、人が亡くなると、家族や親族が本籍地の自治体に死亡届を出し、除籍となる。戦争、身元不明、海外移住など原因は分からないが消えないまま年月が経過した戸籍の数が膨らんでいるようだ。七月末、東京都内で「百十一歳」とされていた男性が遺体で見つかった事件では、死後に支給された年金を受け取っていたとして長女と孫が逮捕された。同じような事件が全国で相次いでおきている。雇用、悪化による貧困化に加え、薄れ行く地域社会のつながりがこのような事件に拍車をかけている。▼行政も職員が情報収集や訪問活動に奮闘しているが、人員不足のうえ「個人情報保護」の名のもとに住所や名前すら把握できない現状があるようだ。私たちの想像以上に広がるこのような現象にどう対応していけばよいか、地域や班会など、みんなで話し合うことが必要ではないか(S)

無料・低額診療事業

— 開始にむけて — ①

経済的な理由により適切な医療サービスを受けることができない方に対し無料または低額な料金で受診できる制度です。富山医療生協でもこの制度が実施できるように準備を進めています。今月号から三回シリーズで掲載いたします。



▲外来の様子 (本文とは関係ありません)

「無料・低額診療事業」とは、医療費の支払いが困難な方や、保険料が払えなくて健康保険証が交付されず医療を受けられない方たちが、無料または低額の医療費負担で受診出来る制度です。

富山医療生協では、病院と両診療所で実施できるように申請準備を進めています。「虹のまち」では三回に分けて「医療生協が取り組む

意義」、「制度の仕組みと利用の方法」、「活用の方と今後の課題」についてご紹介いたします。

一九八〇年代以降の相次ぐ医療保険制度の改悪で自己負担額が増加し、経済的困窮者は受診の機会を奪われ、救急搬送された時には既に手遅れという深刻な事態が広がっています。富山市市内でも、生活保護は前年同月比で受給者が十二％増(百五十四人増)、申請者数では五十八％増(九十二件増)となるなど、生活困窮者は地方都市でも確実に増加しています。

医療生協の社会的役割

しかし、残念ながら必ずしもこのような事態が医療生協の受診状況や生活相談活動に反映しているとは言えません。

そもそも医療生協は、組合員だけでなく、地域住民の医療を中心とした生活改善に寄与することを自らの社会的役割と位置付けています。それは、協同組合の

そもそも医療生協は、組合員だけでなく、地域住民の医療を中心とした生活改善に寄与することを自らの社会的役割と位置付けています。それは、協同組合の

理念や民医連綱領の実践そのものであり、存在意義を示すものです。全国の医療生協や民医連の事業所でも事業開始が広がっています。

このような状況のなかで私たちは、生活保護の取得や国民健康保険への加入など公的の制度や社会的資源を最大限活用しながら、無料・低額診療事業を活用し、生活困窮な方たちの命と受療権を守り、問題解決にむけて取り組む決意です。

富山医療生協に対する医療損害賠償訴訟について

亡くなられた患者様のご冥福を心からお祈り申しあげます。また、ご遺族の皆様にはあらためて深くお悔やみとお詫びを申しあげます。

裁判では、現在の医療水準や社会的水準に照らして、鑑定等を通して客観的な判断を受け、その結果に対しては誠実に責を果たしたいと思っております。

ご遺族の皆様には速やかな解決をめざして引き続き誠実に対応する所存です。

富山医療生協 理事会

地域で子育てへの支援を



富山協立病院小児科 飯村雄次 医師

日本小児科学会
日本アレルギー学会
日本小児アレルギー学会

皆さんこんにちは、鹿児島生協病院の小児科研修から戻ってきた飯村です。九月初めに三年半の小児科研修の総まとめとして、気温三十九度という異例の猛暑だった京都で小児科専門医試験を受験してきました。いよいよ十一月から富山協

立病院小児科を約一年半ぶりに再開します。富山の皆さんは、鹿児島に行ったきりで忙しさを理由になかなか連絡もよこさない恩知らずの息子のような自分の帰りを辛抱強く待ち続けて頂き、本当に有難うございました。

毎回病院の会議資料や虹のまち通信と一緒に送られてくる富山の職員の皆さんのお手紙を読むたびに、早く小児科医として成長して帰り、少しでも恩返しができればと思っています。今後の抱負としては、富山協立病院小児科としての



特色づくりとして、アレルギー専門外来では、気管支喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギーなどを中心に、ガイドラインに沿った治療を行っていきたくと考えています。また、乳幼児健診・予防接種・園医活動・医療講演活動などの保健予防活動、子育て学校・子育て班会・院内保育。病後児保育などの子育て支援活動

も行っていきたくと考えています。保護者の皆さんに向けては、「こどもの病気を診察を受けるタイミング」「こんな時どうする?」「ワクチン(予防接種)について」などの班会をどんどん積極的に行っていきたくと考えています。こういったテーマで班会をやつて欲しいなどのアイデアがあれば、どしどしお聞かせください。

今年の夏は例年になく暑い日が続きましたが、ようやく少し涼しい季節になりました。こうした季節の変わり目は大人も子供も体調を崩しやすいので、十分お体には気をつけてお過ごしください。これからどうぞ宜しくお願い致します。

11月も身体メンテナンス



婦中町にあるぼくらではデイサービス利用者さんの外出会を九月十四日(火)十七(金)まで四日間行いました。天候にも恵まれ、ミドリライプや森林浴に最適でした。行先は婦中町にある音川観光農園でのぶどう狩りです。初めての取組みでしたが、利用者さん十人

ポランティアさん十八人ほどで、おいしいぶどうを味わってきました。農園ではぶどうの採り方などを教えていただきながらぶどう狩りを体験しました。

おおきな巨峰を口に入れて、「こんなおいしいぶどう食べられてありがたいことだからもデイサービスの利用

富山協立病院小児科 内見会のご案内

日時 10月31日(日) 10時~12時

いよいよ11月から小児科が再開します。どなたでも見学できます。小児科診療のなしや子どもの健康相談会を行います。ささやかな記念品もあります。



かわいい音楽とキャラクターが皆様をお迎えます

皆さんの要求に応え、地域から信頼される施設として、これからのがんばっていきたくです。

ぼくらデイサービス 柴田真里子

虹の出会い月間始まる!!

今年で12周年! 世界と歩ニラマワヒロ健康ウォーク

十月一日に「日本医療福祉生活協同組合連合会」がスタートしました。略称「医療福祉生協連」は医療福祉の向上と会員生協の事業と運動の発展を通じて、組合員との思いを実現することを目的に、全国百十五の医療生協日本生協連を合わせ百十六生協が参加しました。

地域では、貧困や孤立化が進み、孤独死への不安を抱えた高齢者の切実な声も聞かれます。今こそ、地域のきずなを太くして、気にかかけあい、助けあひのあるまちづくり、楽しく為になる健康づくりを進めましょう。

第四回富山医療生協

グラウンドゴルフ大会

九月三十日、富山医療生協グラウンドゴルフ大会が富山市荒川の城東ふれあい公園で行われました。

当日は八十五名の方が参加され、十七チームに分かれてプレーし、団体戦、個人戦とも十六ホールの合計スコアで競いました。あいにくの曇り空の天気でしたが、皆さん楽しく交流されました。



▲楽しく汗を流しました



▲団体優勝 西部Bチーム

- ◇団体◇
 - 一位 西部Bチーム
 - 二位 西部Aチーム
 - 三位 富南チーム
- ◇個人 男子◇
 - 一位 堀 幹夫(西部A)
 - 二位 岡部良夫(広田B)
 - 三位 前沢孝志(西部B)
- ◇個人 女子◇
 - 一位 山田紀子(水橋)
 - 二位 山田悦子(実行委)
 - 三位 小住淑子(豊田北)

東ブロック 上市支部・水橋支部
水橋西部支部・三条支部
やくし支部・滑川支部

東ブロック主催のウォーキングイベントが九月二十九日、上市丸山総合公園にて行なわれました。

当日は、本日に秋晴れの素晴らしい一日でした。子供連れもあり、参加者は百二名にのぼりました。主観として、場所を選定した上市支部としては、少し鼻も伸びたと思います。

眼目寺、立山寺まで五キロのコースは上市川を渡るため、アップダウンの厳しい

南ブロック 婦中支部・中央東支部
中央西支部・南支部
富南支部・山室支部
西部支部・藤ノ木支部

九月二十四日、婦中ふるさと自然公園で、南ブロック主催のさわやかウォーキングが行なわれました。

当日は曇りでしたが、剣



▲話しに聞きいる皆さん

婦中ふるさと自然公園には、古墳など史跡が多くあり、ゆつくりとウォーキングをしながら古墳巡りをしたり、各願寺住職のお話しを聞いたりました。参加された皆さんより「なんとなく歩くよりも、観光ボランティアの解説があつて良かった」「各願寺住職のお話やハート二カの方の演奏が良かった」などたくさんのお声がかげられました。



▲とってもいい笑顔「バシャリ」

や肉、焼きそば等お腹いっぱい食べました。参加者からは「楽しかった」「また来年も参加したい」といった感想が寄せられ、とても楽しいウォーキングイベントとなりました。

上市支部 有川 幸夫



▲元気にウォーキングを楽しみました



▲竹やぶをゆつくり歩きました

より多くの人に参加してもらうため、健脚コース、一般コース、滞在コースに分けましたが、一般コースでも、帰ったら足が突っ張るようになってしまい、日ごろの運動不足を実感された方もおられたようです。

婦中支部 井波美和子

10年度 第三回理事会報告

八月二十八日(土)、協立病院会議室において、定数二十九名中二十三名の出席で第三回理事会を開催しました。

【主な内容】

- ①七月の事業概況について確認しました。
- ②病院小児科開設、南三階のリニューアル工事の進捗状況について確認しました。
- ③富山診療所開設六十周年

記念行事を医療生協が知らせ学びあう機会として位置づけ、成功を最重点課題として取り組むことを確認しました。

- ④「虹の出会い月間」の、推進について協議しました。
- ⑤社会福祉法人「とやま虹の会」の役員改選で友榻彰氏が理事長に選任されたため、友榻理事より、理事退任の申し出があり、承諾しました。

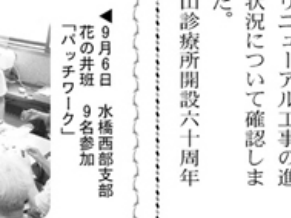
地域フラッシュ



▲9月27日 婦中支部 五月班
7名参加 「話しき班会」



▲9月27日 やくし支部
あすなろ班 7名参加
「話しき班会」



▲9月6日 水橋西部支部
花の井班 9名参加
「パッチワーク」

